

いっしん

Vol. 137 2022.3 (隔月刊)

社会福祉法人 一心福祉会

<https://www.isshinfukushikai.or.jp/>



法人ホームページはこちらから。
携帯・スマートフォンからでも
広報いっしんを閲覧できます。

一心療護園
お内裏様とお雛様♡
(比嘉健一さん) (喜久川博美さん)



ホームセンターにて苗選び



水やり



草とり



土づくり

コロナ禍で面会や外出が困難な中、施設内での楽しみやストレス解消につなげるために、中庭にて野菜作りを始めました！種選びから植え付け、草取りや水まき等、一から利用者さんと共に取り組んでいます！また、これは「園芸療法」と言い、心理的ケアや認知機能低下予防も期待できる、立派なりハビリテーションの一環となります。

園芸療法始めました！

やんばるの家

ます！ベテランの農家であった利用者さんに素人のスタッフは日々怒られています。徐々に育つ皆さんの笑顔も見られるようになりました！収穫の際には皆でヒラヤーチーパーティーでも開催する予定です！

やんばるの家
機能訓練指導員
(理学療法士) 安里 郁登



いらっしゃいませ〜♪利用者さんも販売対応頑張りました♪

コロナ禍の影響で今年度もえすの里フェスタの催し物が出来なかつたのですが、採れたての大根やじゃがいも、花の苗、手作りの小物を就労センター前で販売し地域の方々へ利用者さんの頑張りを届け売上の向上を図

花苗・野菜 販売強化

就労センターえすの里

りました。一心福祉会の職員や利用者さんのご家族、そして目を止め足を運んでくれたすべての皆様に感謝を申し上げます。利用者・職員一同が今年の糧となる素晴らしいスタートを切る事ができました。



グループワークでしっかり共有♪

虐待は、職場環境で大きく変化する事を確認し今後も職員全員（チーム）で未然に防いでいきます。

当山 康政

施設内虐待防止研修

えすの里

えすの里では令和四年二月十八日、虐待についての職員研修を行いました。今回はプロジェクトを使用。参加者の集中力を高め、アイスブレイクを活用してコミュニケーションの大切さを学び、他施設の事例を用い利用者、職員の情報共有の大切さを再確認しております。



再開後も利用者の皆さんと共に職員一同、楽しく安心・安全なサービスを提供します。

デイサービス再開

デイサービスでは年末より新型コロナウイルス感染防止の為、営業を停止していましたが、二月より感染対策をしっかり行い、再開しました。

また、昨年十一月にアツタイグワにて植え付けをした大根を収穫し、レク活動のゲームの景品でプレゼントしました。例年より小ぶりの大根でしたが「葉っぱは塩もみして炒めたり大根汁にして美味しかった。」と利用者も大喜びでした。みんなが待ちに待ったデイサービスを再開でき、職員一同、これからも引き締めて頑張りたいです。



葉っぱが元気だな〜



美味しそうな大根

ワクチン&感染症対策

一心福祉会では一月に入り、六十五歳以上の利用者さんから三回目のコロナワクチン接種がスタートしました。三月一日時点では利用者さんの接種は殆ど済んでおり、感染力の高いオミクロン株等からの感染・重症化リスクの軽減に繋がれば幸いです。法人職員も一人ひとり「施設に持ち込まない」という意識を持ち水際対策を徹底しており、施設内での感染拡大等は防げています。



法人看護師全体で研修を行いました

また、感染症に係る研修も継続しており、十一月には県立北部病院、感染管理看護師の仲宗根正樹氏を講師に迎え、最新のコロナ状況・感染症対策の共有とガウンテクニクを実践しながら確認し、感染症に係る対応が適切に行える様に取組んでいます。Withコロナの中でも安心・安全な福祉サービスを継続して行える様に務めて行きます。

衛生委員会の活動報告

衛生委員会では、職員が安心して働ける職場作りのため、産業医の諫山先生と職場巡視を行っていただきます。職場巡視では、現場の危険箇所や腰痛予防・事故予防対策の進捗状況の確認を行い、産業医の助言を受けながら委員間での情報共有と改善に努めています。



産業医の助言を受けながら環境改善

1月・2月 イベントありんくりん♪

生年祝い者の皆さん、おめでとうございます！



仲村昌子さん



金城珍政さん

今年
は八名の
生年祝
い者
が
いま
した。

一心療護園



宮城長栄さん



伊波竜一さん



仲村国俊さん



仲本克章さん



仲上門友枝さん

えすの里



手作りレアチーズケーキに挑戦



男性利用者の皆さん、ハッピーバレンタイン

グループホームえすの里

♡♡♡♡♡
バレンタインデー♡♡♡♡♡



利用者さんも自然と笑顔がこぼれます♪



えすの里



至近距離からの鬼は～外♪



鬼に狙いを定めて鬼は～外♪

2月

福 節 分 福

つつじ苑



福は～内♪

小規模いっしん



私たちが鬼役です！



お、おもい…けど楽しい♪

グループホームえすの里では、元旦に餅つき、ドライブを行いました。重い杵を持ち上げ、餅をつく楽しさ。つき立ての餅に海苔を巻いたり、ぜんざいに入れて美味しく頬張っていました。

また、コロナ禍で正月帰省が出来ず、日頃のストレスを発散しながら新年を迎えるの楽しみを提案する為、十分な感染対策を行いドライブ余暇支援を実施しました。やるばるの素敵な景色を堪能しながら、満足げな表情でハンバーガー等を飲食

正月余暇支援

グループホームえすの里

しつつ、楽しむ事が出来ました。

大城 敏輝



ドライブサイコー♪



さすが！なれた手つきで包みます！

一月十日、利用者、職員で芋をたくさん使いそれぞれで月桃の葉に包みムーチー作りを楽しみました。

蒸しあがったムーチーはおやつの時間に美味しくいただきました。

それぞれの家庭で包み方も色々ありユニタクしながら楽しいひと時を過ごしました。

ムーチーは家族の健康、特に子供の健康祈願をするのことで大切な行事だと改めて思いました。

ムーチー作り

グループホームつつじ苑

地域貢献活動で今回は、喜如嘉の浜辺のゴミ拾いを行いました。左右に分かれ、ゴミを分別しながらひたすら袋に入れます。どんどん重くなりながらも黙々と拾い続け、気が付くと浜辺がぴっぴか。皆が頑張った成果が見てわかり、準備したゴミ袋も全て使い切り、全員が達成感を味わいました。

地域貢献活動

地元への海を綺麗に

就労センターえすの里



とっても綺麗になりました!!



徐々に泡立て器もったさ～



バナナも上に乗せて美味しそう

バナナケーキ作り

デイサービス

デイサービスではバナナインデーにちなんでバナナケーキ作りを行いました。

バナナの皮をむいて潰したり、卵と砂糖を混ぜあわせたり、一工程事に全員で参加する事ができました。「皆で作るとひと

味違うね」「レシピ教えて」などの感想があり、久しぶりに活気ある日となりました。

一日でも早く新型コロナウイルスが終息し、元氣な日常生活を取り戻すを願ばかりです。

元氣のぞくおはなし わたしのヒストリー

人生はたった一度と言われますが、その人の歩んだ人生は唯一のもの。その貴重な体験を「私のヒストリー」(ライフヒストリー)と題してご紹介する企画です。



デイサービス利用者
古我知 良子さん(89歳)
(塩屋区)

とうばる小のおばあが糸を紡いで、その嫁さんが機を織って本家のおばあが着物にしてくれたもの。

なのでよく滑って転んでいました。楽しかったのは、家の六畳の一畳(いちばんじゃ)に友達と集まって歌を歌ったり、ゆり、川の字になつてみんな

私は、大宜味村喜如嘉で生まれ。姉と弟の三人姉弟で優しい父と母と暮らしていました。小さい時は姉と一緒に近所の畑を手伝いに行ったりして家計を助けたり、裸足で薪を取りに行ったりしていました。雨降りに薪を取りに行くときは偏平足



良子さんの幼少期に家族で撮った写真。左端が良子さん。

二十歳頃までは、家の手伝いをしていましたが、その後、奥間でメイドの仕事をするようになりました。奥間には、アメリカからの駐留の方の保養施設があり、嘉手納に住宅が滞りするので、駐留の家(嘉手納)へ行ってメイドの仕事をしていました。その家庭のお母さんが良い方で、仕事を始めた時は(英語)言葉が上手く使えなかったけども雇ってくれて、その家の子供達(当時小学四年生、六年生くらい)が二人いて、子供達と話したり、時には言葉でケンカをしたりして英語が話せるようになっていました。

で寝たりした事です。とにかく人が集まる家で、冬は囲炉裏でみんな温まったりしていました。食べ物が多かったです。食べる事が多かったです。

結婚してからは、国頭村の鏡地で生活するようになり、直ぐに長女が生まれ、その三年後に長男が生まれました。子育てをしながら、三十歳から四十歳頃は、畑仕事もしていました。近所の田んぼの田植えや稲刈りの時期は手伝いもしていました。ポランティアで近所の子供達を預かりたりして、鏡地の家も沢山の人が行き来する場所になっていました。



メイドをしていた時の家庭の子供達。

七年間くらいメイドの仕事をした後は、専業主婦で家を支える事になりました。よく私に懐いてくれたメイドの仕事先の子供達から別れる時に「ヨシコ、オキナワニ、クルカラネ」と話してしまいました。

夫は、家に人を連れて来るのが好きで、塩屋の家も人が良く来る家になっていて、鏡地では近くの若い人が「ゴーヒー頂戴」とよく通りすがりに来たり、中には、夜中に喫茶店ではなく、私の家に彼女を連れて来てくれました。娘もうちには喫茶店みたいだと話してました。今は、デイサービスでいろんな人たちと過ごしたり、曾孫達が家にきてくれて賑やかに過ごしています。



メイドの仕事をしていた時の写真。

夫は、家に人を連れて来るのが好きで、塩屋の家も人が良く来る家になっていて、鏡地では近くの若い人が「ゴーヒー頂戴」とよく通りすがりに来たり、中には、夜中に喫茶店ではなく、私の家に彼女を連れて来てくれました。娘もうちには喫茶店みたいだと話してました。今は、デイサービスでいろんな人たちと過ごしたり、曾孫達が家にきてくれて賑やかに過ごしています。

本人より聞き書き

